

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

<b>事業名</b> 北海道縦貫自動車道 <small>しべつけんぶち なまよる</small> <small>しべつけんぶち</small> 士別剣淵～ <small>なまよる</small> 名寄	<b>事業区分</b>	高速自動車国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 北海道開発局																																	
<b>起終点</b> 自： <small>ほっかいどう しべつ みなみまちひがし</small> 北海道士別市南町東 至： <small>ほっかいどう なまよる ほうえい</small> 北海道名寄市字豊栄				延長  24.0 km																																	
<b>事業概要</b> 北海道縦貫自動車道は、函館市を起点とし、室蘭市、札幌市、旭川市、士別市、名寄市等を経由して稚内市に至る延長約681kmの高速自動車国道である。 士別剣淵～名寄は、高速ネットワークの拡充による道北圏と道央圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流の効率化等の支援を目的とした延長24.0kmの事業である。																																					
H15年度事業化 (新直轄方式)	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H19年度用地補償着手	H19年度工事着手																																		
<b>全体事業費</b>	約373億円	<b>事業進捗率</b> <small>(令和3年3月末時点)</small>	約83%	<b>供用済延長</b>  0.0 km																																	
<b>計画交通量</b> 4,100台/日																																					
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>B/C</b></td> <td style="width: 10%;"><b>事業全体</b></td> <td style="width: 10%;"><b>1.1</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td><b>残事業</b></td> <td><b>3.8</b></td> </tr> </table>	<b>B/C</b>	<b>事業全体</b>	<b>1.1</b>		<b>残事業</b>	<b>3.8</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>総費用</b></td> <td style="width: 10%;"><small>(残事業)/</small></td> <td style="width: 10%;"><small>(事業全体)</small></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>146/531億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>58/443億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>88/88億円</td> </tr> </table>	<b>総費用</b>	<small>(残事業)/</small>	<small>(事業全体)</small>			146/531億円		事業費	58/443億円		維持管理費	88/88億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>総便益</b></td> <td style="width: 10%;"><small>(残事業)/</small></td> <td style="width: 10%;"><small>(事業全体)</small></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>557/557億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>448/448億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行経費減少便益</td> <td>87/87億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>22/22億円</td> </tr> </table>	<b>総便益</b>	<small>(残事業)/</small>	<small>(事業全体)</small>			557/557億円		走行時間短縮便益	448/448億円		走行経費減少便益	87/87億円		交通事故減少便益	22/22億円	<b>基準年</b> 令和3年
<b>B/C</b>	<b>事業全体</b>	<b>1.1</b>																																			
	<b>残事業</b>	<b>3.8</b>																																			
<b>総費用</b>	<small>(残事業)/</small>	<small>(事業全体)</small>																																			
		146/531億円																																			
	事業費	58/443億円																																			
	維持管理費	88/88億円																																			
<b>総便益</b>	<small>(残事業)/</small>	<small>(事業全体)</small>																																			
		557/557億円																																			
	走行時間短縮便益	448/448億円																																			
	走行経費減少便益	87/87億円																																			
	交通事故減少便益	22/22億円																																			
<b>感度分析の結果</b> 事業全体及び残事業について感度分析を実施 <b>【事業全体】</b> 交通量：B/C=0.9～1.2（交通量±10%） <b>【残事業】</b> 交通量：B/C=3.4～4.3（交通量±10%） 事業費：B/C=1.04～1.1（事業費±10%） 事業費：B/C=3.7～4.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.01～1.1（事業期間±20%） 事業期間：B/C=3.8～3.9（事業期間±20%）																																					
<b>事業の効果等</b> <b>事業の必要性及び効果</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 救急搬送の安定性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送時間短縮及び安定走行による患者負担軽減の観点から当該道路の整備が期待される。</li> </ul> </li> <li>② 水産品の流通利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・速達性及び定時性確保による流通利便性や労働時間管理の観点から当該道路の整備が期待される。</li> </ul> </li> <li>③ 農産品の流通利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・速達性及び定時性確保による流通利便性や生産力向上の観点から当該道路の整備が期待される。</li> </ul> </li> <li>④ 道路交通の安全性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型車等の広域交通と生活交通の分担が図られることで交通事故が減少し、道路交通の安全性向上が期待される。</li> </ul> </li> <li>⑤ 観光地への利便性向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該道路の整備によって高速ネットワークの連続性が高まり、広域観光の活性化が期待される。</li> </ul> </li> </ol>																																					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> <b>地域から頂いた主な意見等：</b> 士別市、旭川市など7市4町の首長等で構成される「北海道開発幹線自動車道道北建設促進期成会」等から、整備促進の要望を受けている。 <b>知事の意見：</b> 「北海道縦貫自動車道士別剣淵～名寄」事業を「継続」とした「対応方針（原案）」案について、異議はありません。 当該事業は、高規格道路網の構築による道央圏と道北圏の連絡強化により、地域間交流の活性化や高次医療施設へのアクセスの向上が図られるなど、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心なくらしの確保に寄与することから、早期供用を図るようお願いいたします。 なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層、徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。																																					

